

議会報告会2024 報告書（各地域）

[委員会名]: 環境産業常任委員会 [委員長]: 井上議員

日 時	令和6年8月7日（水）	10時分 ～11時30分
会 場	まるくる大野	
担当委員	井上議員、山崎議員、田中議員、堀田議員、佐々木（雄）議員、高橋議員、大畑議員	
記 録 者	大畑議員、高橋議員	
参 加 者	6名	
ご意見等	会場での回答	
<p>スクリーン表示では、CO2 排出量の半分は、事業者による排出（産業部門）である。</p> <p>①事業者がどのような形で排出しているのか。それをどのように抑えていくのか。それを代替するのが電力か。発電所があるのか？</p> <p>②一方で、太陽光パネルは設置したものの、すぐ壊れたり、設置したために、その地域に住めなくなったりなどがある。果たして太陽光という方法がよいのかどうか。水力・地熱など、太陽光以外に CO2 排出抑制のための選択肢の検討はあったのか。</p> <p>③ゼロカーボン（ブルーカーボン）のために、廿日市市の中でCO2を吸収できる干潟などは、どこにどれだけの面積があるのか教えてほしい。</p>	<p>①建物の省エネをいかに進めていくのか、その方法としては、新機能都市開発でも、EB化などがある。</p> <p>②太陽光については、いろいろな課題がある。地熱は、会派で先進地視察もしたが、廿日市市に利用できる場所はない。ポテンシャルが高いのは太陽光としている。中小水力発電は佐伯地域で検討されているが量としては多くない。太陽光はパネルの問題などはあるが、実行計画は令和12年までの計画で、今後新しい技術開発もあり、新たな取り組みもあると思う。</p> <p>③ブルーカーボンに関して、実行計画には、干潟についての具体的なことは書いてない。藻がだんだん少なくなっている中で、藻を植えていく、再生していく、増やしていこうという取り組みもある。HPで実行計画を見ていただけたら。</p> <p>実行計画に事業者別の細かな部分までは出ていない。</p> <p>ブルーカーボンの関連では、コークスを使った海の浄化がある。アサリやカキのあるところ、民間との連携でやっていると聞いている。ブルーカーボンをどこまで、というのは担当課に聞いてみないとわからない。</p>	
<p>産業部門の問題について把握されていない。（干潟などの）面積についても把握されていない。今後の資料になるかと思うので、ご検討を。地熱は大きな発電所ではなくて、一般住宅の地下を掘ることで使える方法がある。産業団地の計画があるが、地熱を選ぶと補助金を出す、とかは可能ではないか。太陽光以外の省エネも視野に入れて検討していただきたい。</p>	<p>議員も ZEB、ZEH についてもしっかりと勉強したい。磯焼け防止方法も研究されている。どのような方法がとれるか、瀬戸内海水産研究所（大野）にも聞いてみたい。</p>	
<p>2022年に廿日市市は新電力と契約しそこが経営破綻したのに、懲りずに今回も新電力会社設立の記事があった。</p> <p>具体的に新電力会社はできるのだろうか。一市民として不安なところが多い。</p>	<p>2022年のケースは、市は契約していた新電力会社が倒産したので中国電力に変えた。</p> <p>今回の物は、広島ガスとの新会社設立で、LNG 液化天然ガスで発電する。石油や石炭より CO2 排出量は少ない。パートナーとして広島ガスを選んだ。また送配電網もいるので中国電力にも</p>	

	<p>入ってもらっている。現在もはつかいちエネルギーグリーンセンターで発電した電力は広ガスに供給している（気化熱利用）。倒産したら、ということだが、私たち議員も市民の税金を無駄にしないようチェックし、CO2を減らせるようにしていきたい。</p>
<p>LNG となると国際的になる。ロシアも絡んでくる。これならやっていけるという具体的なものはない。議員も目を光らせているとは思いますが。</p>	<p>全員協議会で議員からも「大丈夫なのか」という指摘もあった。庄原市のバイオマス失敗もあり、しっかりと議会としてチェック機能を果たすため、説明を求めたりしていきたい。</p>
<p>私が市の審議委員していた当時、ごみ処理施設からの気化熱で熱供給をと意見を出したものを、コンサルが取り入れ、ごみ発電と熱供給で年1億円くらいの収入がある。私は、家庭用太陽光発電を5か所ほど持っている。売電価格は48円だったのが今は7円15銭である。また、EV車を、バッテリーとして購入して、あくまでもバッテリーとして購入したとして税務署と交渉し、現在県内で1件、減価償却を認めさせた。価格の90%をバッテリーとして国に認めてもらった。それを新電力会社にも買ってもらえるかどうか確認してもらおうこと。新電力会社はどこか？</p> <p>安いからと新電力に飛びついたら倒産した。カタカナ・横文字の会社に頼んだらダメだ。倒産後、中電に頼んだら「知るか」と高い料金にされた。市政のチョンボにより、これだけの損害があることを議会も追及して欲しい。</p> <p>新電力もいいが儲けが出ないといけない。議会としては儲かる施設でないだめということをしつかり主張してほしい。</p>	<p>広ガスと協定を結んでいる。それが発展して新電力に結びついた。卒FITも買って利用したいとの方針。会派で敦賀市に視察。買取価格がいま10何円かに落ちている。その差額分をポイントにして買う仕組み。我が家も卒Fitで中電に売っている。卒Fitを買わせるような仕組みをとることが必要と思う。</p>
<p>バイオマス関連だが大野 IC の裏側の山、保安林だが開伐（皆伐？）する。樫の木が一抱えも二抱えもある。大きくなりすぎると根が浮いて台風が来ると地盤が揺れて木が倒れる。昨日木を伐ることの許可証が届いた。50年たった木は保水力がない。クヌギは20～25センチまで、それ以上になると保水力がなくなる。岩国の日本製紙工場に持ち込む。邪魔したのは県木連（広島県木材組合連合会）。県の関連課の職員が天下っている利権企業だ。</p> <p>350 kg（軽トラ1台分）を15台運んでやっと4万5千円の年会費が出るくらい。</p>	<p>農業は衰退している。特に佐伯吉和 いかんせん後継者含めて農業が苦しめられている。国が支えていく力がないと日本の農業はダメ。みんな高齢化だ。地球温暖化は地球が怒っている。農業は生命維持に絶対不可欠。おざなりにされて先を見通したら絶対ダメ。今は食べられているから平和ボケしている。</p> <p>・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>全く同じ考え。私も3反6畝くらい作っている。一等米がJAの引き取り価格が、以前は9500～9600円、今はコシヒカリでも5100円だ。材料費や農業機械の価格が高騰している。農業法人自体も高齢化している。「廿日市市農業振興ビジョン」の見直しの時期ではあるが、市の職員は、ほとんど百姓したことがない人ばかりだ。</p>
<p>今日はとても参考になった。廿日市市としてゼロカーボンにするなら、CO2の削減とおも</p>	<p>今言われたこと、全部農業にかかってくる。農水路が傷み、水が取れず、耕作放棄地が増える。</p>

<p>に、「使わない」ことも。植物によってCO₂を酸素に変える。農業振興もゼロカーボンの一つだと思う。「木を植え」、木材加工の技術、事業者もいる。それで製品化を図る。トータルにデザイン化して行って欲しい。</p>	<p>山の木は成長時にいちばんCO₂を吸収する。整備すれば鳥獣被害も減る。しっかり行政のケツをたたいていく。</p>
<p>日本は食糧危機だ。野菜のタネ、91%が輸入でそれもF1(1代限り)の品種だ。種子法、種苗法はアメリカが変えろと法律が変わった。農水省の食糧管理課が言っているが、今のうちに、散歩するときに、食べられる野草と食べられる野草を見分けられるようにと。(食料供給困難事態対策法案関連のことと思われる)小麦・大豆・とうもろこし、ほとんどのものが輸入だ。野菜のタネも入って来なくなるし、畜産もダメになる。7200万人が死亡すると予測されている。農林水産省のHPには、その時は、サツマイモと粉ふきいもでしのいでくださいと書いてある。</p>	<p>種子法が廃止されたとき、市議会は、法に代わる条例を作れと県に対し意見書を上げた。戦時には、戦闘で死ぬより餓死(栄養不良による病死も含む)のほうが多い。武器より食糧が必要。</p>
<p>省エネに関する補助金は、国が手厚い。もっとPRした方がいい。</p>	<p>所管課に伝える。</p>
<p>その他のご意見</p>	
<p>地御前漁協などで行っている「漁民の森事業」に議員にも参加して欲しい。木を愛する人になってほしい。クマが出るのは人間が悪いと思う。</p>	